

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①器具備品

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

①退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産(特)	1,100,149	196,375	0	1,296,524
獣医師会館取得資産(特)	34,017,564	333,254	0	34,350,818
小計	35,117,713	529,629	0	35,647,342
合計	35,117,713	529,629	0	35,647,342

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産(特)	1,296,524	0	0	1,296,524
獣医師会館取得資産(特)	34,350,818	0	34,350,818	0
小計	35,647,342	0	34,350,818	1,296,524
合計	35,647,342	0	34,350,818	1,296,524

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし。

8. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

9. 重要な後発事象

該当なし。

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給付引当資産 (特)	1,100,149	196,375	0	1,296,524
	獣医師会館取得資産 (特)	34,017,564	333,254	0	34,350,818
	特定資産計	35,117,713	529,629	0	35,647,342
その他固定資産	器具備品	1	0	0	1
	出資金	150,000	0	0	150,000
	土地	28,025,111	0	0	28,025,111
	その他固定資産計	28,175,112	0	0	28,175,112

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,100,149	196,375	0	0	1,296,524